



眼科 部長 田中 茂登

網膜静脈閉塞症に対する治療

以前は、網膜静脈閉塞症(RVO)の治療は、網膜光凝固(PC)、ステロイド注射、硝子体手術が選択されていました。

しかし、抗VEGF薬が黄斑浮腫に効果があると報告され、2013年にルセンティス®が適応承認をうけてから、治療の第一選択は抗VEGF薬硝子体注射となりました。

当院でも治療を行っており、患者さんの利便性も考え、外来顕微鏡を導入し硝子体注射を行っています。

現在、RVOで黄斑浮腫を認めた場合、早期に治療を始めることが視力改善に有効であることが多数報告されています。そのため、RVOと診断した段階で、1回+PRN(pro re nata:必要に応じて)で、抗VEGF薬を投与することとしています。1回投与のみで黄斑浮腫が消失し、再発を認めない症例はわずかであり、複数回の治療が必要なことが多く、また患者ごとに病態が異なるため、画一的な治療は難しいのが現状です。複数回の治療は高額となり、患者さんの負担が増えることも問題点です。

また、蛍光眼底撮影にて、無血管領域が出現すれば、PC施行し、新生血管の出現を抑えることも重要です。PCによって、眼内VEGF濃度の低下、注射回数の減少が期待されていましたが、レーザーの有無と注射回数に関係ないという報告があります。少ない注射回数で良好な視力回復がなされるよう注力しています。



網膜静脈閉塞症に対する硝子体注射を施行しているところ

白内障手術について

平素より白内障手術依頼のご紹介ありがとうございます。

当院でも光眼軸測定装置が導入され、術後屈折の精度が向上するものと考えています。また、導入したトポグラフィーによって正確な角膜形状が測定でき、トーリック(乱視用)IOLの適応も正確にできるようになりました。しかし、乱視を完全矯正することは、明視域の縮小もあり、積極的には行っていません。角膜乱視-2.0D以上を基準に乱視を軽減させることを目的としています。

引き続きの患者さまのご紹介よろしくお願いします。

職場紹介 中央材料室

中央材料室 主任 宮武 久美

高度医療を担う当院では、多様な検査・処置・手術が行われており、それに伴い様々な器材が必要とされます。その器材を定時回収から洗浄・消毒・滅菌した後、定時配送し患者さんに安全安心な医療を受けていただけるよう看護師1名と委託業者20名で業務を行っています。

当院では滅菌管理システムが導入されています。これは、洗浄・滅菌した全ての器材をシステム管理することにより、いつどのような方法で、どのような処理が行われたかという管理(トレーサビリティ)や滅菌回数、器材の使用履歴、所在、有効期限の追跡が行えます。これにより、滅菌が確実に出来ている器材のみの払出しが可能となり、患者さんにどの手術器材が使われたかを追跡できるようにもなっています。

中央材料室は、皆様に見えない部署ではありますが、今後も責任を持って業務を行い、安心・安全に医療が提供できるよう、医療の質を支えるため一丸となり、日々研鑽してまいります。



ボランティアさんのご紹介

総務企画課



今回ご紹介するのは、外来の再来機周り補助や案内のほか、10階屋上庭園の植栽作業でボランティア活動をしている田中鈴代さんです。田中さんは現在の新病院に移転前の旧病院時代から10年ほど活動いただいております。その前の20年程は園芸療法研究会西日本のメンバーとして、関西地区の病院・特養で活動されていたそうです。当病院には癒しの空間として10階に屋上庭園が設置されていますが、よりよく管理するために田中さん達にご協力いただいております。現在は週1回ほど虫取り

や水やり、施肥などの活動に取り組んでいただいております。6月にはベゴニアの花苗を植え込んでいただきました。病院の園芸は植物選定や防虫も特別な配慮が必要で、虫取りなどもすべて手作業です。また10階にある庭園は高所でかつ海風の影響が強いため、植物の生育には小まめなチェックが必要な環境ですが、田中さんの専門的な知識により、植物の選定から生育状態のチェックまで適切に行うことで美しい庭園が保持されています。現在、植栽活動ボランティアは田中さん一人となっており、ボランティアで庭園保持にご協力いただける方を病院内外で探しているところです。



すずらの花が幸せを運んでくれました



すずらんを贈ることは、幸せを贈るという意味があるそうです。毎年、全日本空輸の客室乗務員の方が、すずらんを手に病院に訪れてくれます。

すずらんのさわやかな香りは皆様に届きましたか。6月の北海道の美瑛町ではすずらんの花がとても美しく咲き誇りますと紹介されました。患者さんのところへは生花でなく、手製のオリジナルしおりが届けられ、手でこするとすずらんの香りがします。遠く離れた北海道を思い、旅に行きたくなるようなひと時です。患者さんから「早く元気になって北海道へ行きたい。」との言葉を聞くと「早く元気になってくださいね。私たちがお手伝いします。」と言葉

を伝えて、その場が明るくなりました。客室乗務員の方との話の中で看護師の仕事の素晴らしさを褒めていただき、改めて、自分たちの仕事に誇りを感じたことに感謝いたします。

中央NEWS

禁煙教室が始まりました！！

呼吸器外科 主任部長 青江 基

2006年4月から、ニコチン依存症と診断された患者さんに対して、禁煙治療が保険診療で行えるようになりました。当院においても、2005年5月に敷地内禁煙を標榜、その後院内喫煙チェック吸い殻見回り等を2009年から行ない、四国厚生支局より施設認定を受け保険診療のできる禁煙外来を2009年8月より開始しています。

香川県内でも、当院が禁煙外来を開設した当時には82施設にしかなかった禁煙外来も現在では200施設近くに増え、全国では15000施設を超えるようになってきました。世の中の禁煙への大きな動きが後押ししているようですが、一方で、東京オリンピック開催を契機として議論の出始めた飲食店での受動喫煙問題や、敷地内禁煙を標榜している医療機関での職員の院内喫煙の問題など、なかなか禁煙への一般人、医療従事者への啓発については、順調とは言えないようです。

喫煙は、呼吸循環器系臓器への健康被害や多くの臓器の発がんのリスクを高めますので、がん診療連携拠点病院である当院も積極的に、禁煙の重要性についての啓発活動を行ってゆかなければならないと考えています。

当院でも、喫煙の方を対象に2016年11月より、院内の地域連携推進室カンファランス室にて、毎月第3木曜日午後3時30分より約1時間、院内講師による禁煙教室を行うようになりました。

禁煙教室の内容としては、喫煙の害、禁煙のメリットにとどまらず、禁煙外来での禁煙補助薬を使った診療の実際、禁煙に成功した患者さんの体験談、禁煙関連の地域でのイベント、行事の紹介など、多方面からの情報を提供しています。また、その場での禁煙相談も受け付けており、禁煙を希望する方を優しくサポートする態勢を、医師、認定看護師、薬剤師、事務職員の協力を得て行っています。禁煙教室は、保険診療ではありませんので、参加費はかかりません。予約も必要ありませんので、気楽に、立ち寄って頂ければと思います。

さらに、当院と連携しておられる医療機関、かかりつけ医の先生方におかれましては、禁煙を勧めたいのだがどのように勧めたらいいのかわからない、禁煙を勧めているのだが患者さんがその気にならない、禁煙してくれない、などといった場合で、いきなり禁煙外来を紹介するには患者さん側のハードルが高いと思われましたら、是非、一度、香川県立中央病院の禁煙教室に参加するようにお勧めして頂ければと思います。

今後も、喫煙の害から健康を守るために、禁煙外来とともに禁煙教室を行ってゆくことで、地域住民の健康増進、保健福祉へ貢献をしていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



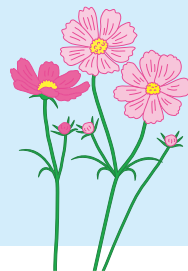
プレアボイド事例紹介(その2)

プレアボイドは現場の薬剤師が薬歴管理や服薬指導などを通じて患者の不利益(副作用など)をいかに回避したかを報告するものです。

「検査値異常を見逃すな!!薬の副作用を疑ってみる～長期間漫然と服用していた芍薬甘草湯による低カリウム血症～」

下咽頭がん手術目的で入院したBさん。術前検査で2.9mEq/Lと低カリウム血症が認められました。服薬指導時、かかりつけ医で処方された芍薬甘草湯を1年以上前から継続して飲んでいることが判明、何の目的で飲んでいるかBさんも分からないとのことでした。芍薬甘草湯による偽アルドステロン症※を疑い医師に報告。芍薬甘草湯が中止になり、1週間後カリウム値4.2mEq/Lと回復、手術も無事行われました。

※数ある漢方薬の副作用の中で最も多いのが、甘草による「偽アルドステロン症」です。甘草の薬効成分グリチルリチンの代謝物が、腎臓でステロイドの代謝酵素を阻害することにより、ミネラルコルチコイド作用が亢進してナトリウムの再吸収と尿へのカリウムの過剰排泄を起こし、低カリウム血症を起こします。主な症状は血圧上昇、浮腫ですが、ひどくなると全身の脱力や不整脈誘発、横紋筋融解症を発症することもあります。



中央NEWS

ほっと一息やすらぎタイムミニコンサートを開催しました

7/5
(水)

マンドリン・ギターアンサンブル“ピアノシモ”さんをお招きし、院内コンサートを開催しました。

テレビドラマの主題歌だった「野に咲く花のように」から、最後の「たなばたさま」まで、アンコール曲2曲を含む全13曲を演奏いただきましたが、どの曲も息のあった演奏で、皆さん聞き入っておられました。

知っている曲も多く、会場の皆さんが演奏に合わせて歌うなど、ライブならではの一体感がみられ、良い思い出となるミニコンサートになりました。



医療セミナーを開催しました

6/29
(木)

本院講堂において「多発性骨髄腫の治療up-to-date」と題して医療セミナーを開催しました。

講演は血液内科の川上院長補佐と、西内部長でした。参加者は医師等31名で、院外からも44名の先生方にご出席いただきました。



7/27
(木)

本院講堂において「消化器癌の内視鏡治療」と題して医療セミナーを開催しました。

講演は消化器内科の石川部長でした。参加者は医師等38名で、院外からも28名の先生方にご出席いただきました。



今後も、当院における医療を紹介するため、興味ある様々なテーマを取り上げて、皆様のお役にたつ医療セミナーを積極的に開催していく予定です。ぜひご参加ください。

医療セミナーを開催します

- 日時：平成29年9月21日(木)
19時00分～
- 場所：香川県立中央病院 1階講堂
- テーマ：「胃がん治療の最前線」
- 講師：消化器・一般外科部長
田中則光

医師の人事

異動

転入

(7月1日付)



土生 智大

研修医

岡山大学出身

(平成28年卒)

趣味／ソフトテニス、テニス

日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。